

若鳩

船出する君へ



校長 竹崎 実

開成門の瓦屋根に暖かな春の日差しが降り注ぎ、旅立つ卒業生の皆さんの、まさに門出にふさわしい穏やかな明るい季節となりました。本日ここに、ご来賓の皆様、保護者の皆様をお迎えし、高知県立高知小津高等学校普通科第七十三回、理数科第五十二回の卒業証書授与式を挙行できますことは、このうえない喜びであり、ご出席の皆様から御礼を申し上げます。

先ほど卒業証書を授与されました卒業生の皆さん、卒業おめでとうございます。立派に成長された皆さんの姿を目の前に、私自身も嬉しくまた誇らしく思います。皆さんのこれまでの勉強に臨む真摯な姿勢と三年間の努力を心からたたえるところに、改めて祝意を表したいと思えます。

令和という新たな時代がスタートした年に、明るい希望に満ちて始まった皆さんの高校生活

は、感染症という思いもよらぬ困難の中で大きく変化しました。先のない状況の中で勉強や部活動、将来の進路を考えた時の皆さんの不安な思いは、察するに余りあります。そして今年こそはとスタートした令和三年度ではありましたが、感染症の影響は収まることなく、学校生活においても多くの制約を受ける日々が続きました。そのような中であつても決して投げやりにならず、今できることにひたむきに取り組む、心から楽しんでいく皆さんの姿は、私たち大人にとつても大きな励みであり、学校の光であつたと思えます。

そうした一方で、昨年度にはできなかった多くの行事や大会等を実施できたのも事実です。感染症の不安を取り除きながら、様々な行事を開催するためには大変な準備が必要であり、安心して行事や大会などに臨めるよ

う、多くの方が裏方として力を尽くしてくれました。「見えないものと闘った一年は、見えないものに支えられた一年であつた。」あるテレビCMの言葉です。感染症という見えないものに苦しめられたこの一年、私たちが生きるこの社会には、自分の目には見えない様々なところで、人を支え、力を尽くしてくれている多くの存在がありました。皆さんが歩んだこの三年間も、保護者や友人、先生方をはじめ、多くの方々に見守られ、支えられた三年間だつたと思えます。どうかそのことを忘れないでください。

さて、AIやロボット技術、通信技術などの急激な進展によつて、私たちの生活は、より安全で豊かになってきました。その反面、四六時中スマートフォンを手放せないという人が増えているように、本来、人のためにあるはずの技術やモノによつて、人が動かされ、人と人のつながりや生き方そのものがどうあるべきかを問われる世の中になつてきています。ネット社会にあふれる膨大な情報で私たちの思考そのものが支配され、自分の進むべき道ですらインターネット上の誰かの意見に左右される。そうした中で本来の自分の目標や人生の喜びを見失つて

しまつても少なくありません。そのような社会に船出する卒業生の皆さんに、三つのお願いをしたいと思います。一つ目は、世の中にあふれる多くの情報の中からしっかりと事実をつかみ取り、考え、分析し、そして最終的には自分で判断をして、進んでほしいということです。人生の岐路に立った時、進むべき道を決めるのは自分自身であり、たとえ失敗したとしても「自分で決めたこと」と納得して次に進むことが成長へとつながります。二つ目は、やり直すことを恐れないうことです。社会に出れば壁にぶつかり、自分の思いどおりに進めないことは多々あります。前に戻つてやり直すことはありません。試行錯誤することは成功への近道であり、その道のある宝です。三つ目は、人を頼り、人に頼られる人間になつてほしいということです。行き詰まつたときに、人に助けを求めたことは決して恥ずかしいことではなく、様々なことを学び自らを深く豊かにする絶好の機会です。たくさんのことを吸収し、次はどこかで誰かを助ける、そんな人になることを心から願っています。この三つのお願いは、本校の教育方針である「自律・

協同・誠実」そのものであり、皆さんが高校生活の中で学んできたことにほかなりません。

本日ご出席いただきました保護者の皆様、お子様のご卒業、本当におめでとうございました。立派に成長されたお子様を目の前にし、感慨もひとしおのことと存じます。保護者の皆様からこれまでいただきましたお力添えに心から感謝を申し上げますとともに、どうか今後とも本校に対しまして、温かいご支援をいただければ幸いに存じます。

卒業生の皆さん、皆さんが卒業する本校は、間もなく創立百五十周年を迎えます。これまでに卒業した多くの先輩方の、一日一日の学校生活の積み重ねが今の本校につながつており、皆さんが過ごした三年間もまた、百五十年の歴史の一ページとなつていきます。そうした本校の卒業生であるということにどうか自信と誇りをもって、これからの歩みを進めてください。

最後になりますが、本日ご多用の中ご出席いただきました、ご来賓の皆様、保護者の皆様に改めて感謝を申し上げますとともに、卒業する皆さんの将来が幸多き人生となることを願つて式辞といたします。

(卒業証書授与式原稿より抜粋)

WAKABATO
発行所
高知県立高知小津高等学校
総務部・PTA事務局
〒780-0916
高知市城北町1-14
TEL 088-822-5270
FAX 088-823-6387

第96号若鳩

- ・卒業式式辞
- ・卒業生に贈る言葉
- ・PTAより卒業生へのメッセージ
- ・活躍の記録
- ・SSH活動報告
- ・皆勤賞・精勤賞
- ・若鳩プラン
- ・学校評価アンケート
- ・読書感想文コンクール
- ・合格者数一覧

など

三年生学年団 卒業生に贈る言葉



三―一主任
三谷 洋子

ご卒業おめでとうございます。個性豊かなメンバーがそろい賑やかなクラスでしたが、大事な話をするときはいつも素直に聞いてくれる、一日のみんなが大好きでした。少しずつ成長していくみなさんの近くで共に過ごせたことに、ありがたの気持ちでいっぱいです。人は心が原動力。情熱と粘り強さを持ち、自分の頭で考え選択したことをやり抜いていく、ステキな人生を歩んでください。小津を卒業したことが一つの宝物になりますように。また会いましょう。



三―一副主任
磯井佐 彰 展

卒業おめでとうございます。この学年団では、副主任として一年間にも満たない期間でしたが、様々な個性との出会いは大変貴重なものでした。皆さんもこれからの新しい出会いを大切にしてほしいと思います。今後、新しいことへの積極的

なチャレンジは、自身の成長へとつながります。いつかまた、様々なことを経験し成長した姿を見られる日を楽しみにしています。



三―二主任
植村 敦 至

ご卒業おめでとうございます。わずか一年でしたが、皆さんとともに過ごした日々は、私にとって大切な人生の一ページとなりました。これからは一緒に過ごした教室を離れてそれぞれ道を歩むこととなりますが、それぞれの道で、ともに頑張っていきましょう。人生は有限です。これからの一日一日を噛みしめながらしっかりと歩んでいくてください。皆さんが健康で幸せな人生を送ることができるよう願っています。



三―二副主任
秋元 杏 理

この一年間、学校行事や授業、掃除の時間を通してみんなと楽しい時間を過ごすことができました。私がしてあげられたことはほとんどありませんでしたが、高校生活は、楽しいことばかりではなかったかもしれません。これから先も、苦しいときや辛いことがあると思いますが、諦めることなく、自分のできる一杯の努力をして、輝かしい未来を切り拓いていってください。また会える日を楽しみにしています。

最後になりましたが、卒業おめでとうございます。



三―三主任
織田 恵 里

毎日イベントの連続で楽しかったです。受験生なのに遊びまくったロングホム。全て任せても完璧に仕上げてくる皆さんのプロデュース力、見事でした。皆さんの担任で幸せでした。本当にありがとうございました。を取り巻く人のご縁に感謝し、素直で謙虚な人間であり続けてください。変わることを恐れず、固定概念にとらわれない成長し続ける大人であってください。どんなことがあっても「死ぬこと以外はかすり傷」です。



三―三副主任
三宮 奈 三

ご卒業おめでとうございます。私の皆さんとの一年間は楽しくてあったという間でした。でも皆さんは小津高校での三年間を勉強や部活動、行事など様々なことに力いっぱい取り組んできたことと思います。コロナ禍で我慢を強いられることも多かったと思いますが、その経験も己の糧として、この先も希望を失わずに歩んでください。皆さんの健康と活躍を祈っています。共に過ごせた一年間に感謝です。



三―四主任
嶋崎 治

卒業おめでとうございます。皆さんの小津高校での学びは終わりましたね。これからは、主体的な行動と学びで、広い視野と専門的な知識を習得し、社会に貢献できる人間に成長していくことを期待します。『可能性に限界はない。限界とは己の作った逃げ道だ。』頑張ってください。



三―四副主任
嶋崎 京 都

ご卒業おめでとうございます。四月に赴任してからの皆さんとの一年間は本当にあつという間でした。授業に部活動、補習と忙しく過ごす毎日の中で、きっかけがえのない友だちや夢に出会えたことでしょうか。人生において無駄なものは何一つありません。失敗も成功も、努力も挫折も、すべて皆さんの明日を拓く糧となります。思い通りにならないことも多いですが、自分のご機嫌を自分自身ですっかりとりながら、これからの人生を歩んでいけるよう祈っています。



三―五主任
植田 辰 子

ご卒業おめでとうございます。とても賑やかなクラスで、文化祭やホームマッチの団結力は見事でした。進路実現に向けて皆さんと取り組んだ日々がよい

経験になり、皆の前向きに努力する姿で、励まされることも度々ありました。本当にありがとうございました。卒業後の進路は様々ですが、これからの身体に気をつけて、日々邁進してください。次会う時に、今よりさらに、大きく成長した姿を楽しみにしています。応援しています。



三―五副主任
松尾 遼

授業に部活に行事など、毎日関わり続けた生徒を送り出すのは、教員人生で初めてです。思い出を振りかえり、懐かしくて心温まるのと同時に、皆の旅立ちがぐつと近づいてくるような感覚も持ち、頬を濡らすこともありました。それくらい、君たちはかけがえのない存在です。関わってくれてありがとう。ほぼすべてのクラスに教えに行きましたが、どのクラスに入っても笑顔にあふれている、そんな学年でした。これからも皆さんが、若鳩が如く、周りに平和と笑顔をもたらす存在になってくれることを期待しています。卒業おめでとうございます。



三―六主任
村田 静 枝

卒業おめでとうございます。まだまだ幼さが残る二年生の春から、覚悟を決め自分の選んだ道に新たな一歩を踏み出す今日まで、この二年間、皆さんが大きく成長していく姿を目の当たりにできて、その側で関わられたことを、心から幸せに思っています。

ます。門出の日に、大好きな詩を贈ります。

「紙風船」

落ちてきたら

今度はもっと高く

もっともっと高く

何度でも 打ち上げよう

美しい 願いごとのように

黒田 三郎



三六副主任 廣瀬 敏行

卒業おめでとうございます。一年生のときから一緒に思い出を共有できました。旧一年四日若鳩祭で工夫して頑張ったおぼけ屋敷、床についたペンキがとれず困ったこと、まわりの先生方に助けてもらったことが忘れられません。スキー研修、一面銀世界の雪山を列になって滑走しました。副担任の三年六日、コロナで大変な中、ホームマツチ、若鳩祭、遠足、そして受験。遠足の龍河洞は、受験の合間の晴れの日、素敵な時間でした。この三年間、多くの人の協力とみんなの頑張りがあったのだと思います。自律、協同、誠実、物理、感謝！



三一七主任 和田 真由美

「皆さん、卒業おめでとうございます。」三一七の全員に向けて、こう伝えられることを大変嬉しく思っています。皆さんが二年生から担任をさせていただきましたが、二年生の最初は休校期間で主に電話でのやり取りでしたね。今思えばあの頃はまだ優

しい口調だった。：。そして、母校が明けてから今日まで、毎日飽きることなく何かが起こる三一七でした。叱ることが多かったですが、ホームマツチや若鳩祭、課題研究や受験期の追い込みなど、皆さんの底力に感動する機会もたくさんありました。頼りない主任を寛容に受け入れてくれて本当にありがとうございます。まだまだ皆さんの色んな顔を見て、一緒に過ごしたいと思いますが、それは残念ながら叶いません。これからの人生では壁にあたることも多々あると思いますが、自分に厳しいことを言ってくれる人の話を真摯に受け止め、さらに成長してください。そして健康に留意して、元気な顔をまた見せに来てください。



三一七副主任 堀内 美千子

ご卒業おめでとうございます。高校生活の多くの時間をコロナ下で過ごし、世の中には自分の努力だけではどうにもならないことがあることを実感したのではないかと思います。目の前の現実を変えることはできなくても、それをどのように受けとめ、考えるかはその人自身の心によって変わります。小津高校で過ごした日々を糧に、これから的人生をしなやかな心で、健やかに過ごしてください。皆さんの前途を心からお祝い申し上げます。



三年学年主任 久武 郁

三年生の皆さん、御卒業おめでとうございます。今振り返って思い出すのは、明るく素直で、そして優しい皆さんの姿です。最後の二年間は活動が制限される場面が多くありましたが、大変な時間乗り越えようとしたからこそ得られたものがあると思います。そして、それが自らの未来を切り拓く力となってくれるはずですよ。新たな旅立ちの日に際し、中庸からの一説を贈ります。「誠は天の道なり。之を誠にするは人の道なり」。皆さんの未来が希望に満ちた輝かしいものとなることをお祈りいたします。



三年団 福井 恵子

ご卒業おめでとうございます。「一番大切なことは、ただ生きることではなく、善く生きることである。」ソクラテスはこう言いました。自分がどう生きていくべきか、考えながら生きていくのは楽なことではないかもしれませんが、しかし悩みながら、失敗しながら、自らの目指す方向に向かって善く生きようとする、そんな生き方をするのが、人生をより豊かなものにしてけると信じています。皆さんの未来が幸多く、豊かなものであることを祈っています。



三年団 白石 志津

自らの限界を決めずに、次の目標を定めて努力を続ける人であってください。努力の難しいところは、ある程度続けてみないことには、それが正解か不正解かわからないところです。努力には正解がないのかもしれないですが、正解はあると信じたい。生徒の皆さんも、自分を信じ、一步一步努力を続けてほしいと願っています。



三年団 山本 史子

三年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。二〇一九年にノーベル化学賞を受賞した吉野彰さんは『ロウソクの科学』を読み、化学に興味を持ったそうです。その後、躍進は言うまでもありません。一冊の本との出会いが一人の人生に多大に影響するエピソードです。皆さんも高校で過ごした日々の中に、今後の人生を変える素敵な出会いがあったことでしょう。それは心の中でロウソクの炎のように優しく灯されると思っています。いつかそれぞれの場所で花開くことを心から願って、お祝いの言葉とさせていただきます。



三年団 橋田 敬一郎

卒業おめでとうございます。みなさんは、この三年間でたくさんのことを学び、経験し、大きく成長することができたでしょうか。どれだけ勉強しても、たくさん知ることを知っていても、世の中は知らないことが多いです。だからこそ社会に出て、学び続ける力が必要になるのだと思います。



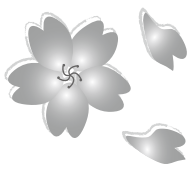
三年団 米澤 友樹生

みなさんは、その学び続ける姿勢と方法をこの小津高校で身につけてきたと思います。その経験を活かして、これからも頑張ってください。応援しています。人生は「一期一会」です。様々な人との出会いに感謝しその一瞬を大切に生きてください。そして、その出会いの中で自身の人間性を磨き上げ、誰からも愛される人間になってください。卒業おめでとう。



三年団 小笠原 剛

卒業おめでとうございます。「努力は素質を上回り、気力は小津高校での三年間を忘れることなく新たなステージで大きく羽ばたいて下さい。」



PTAより 卒業生の メッセージ

【卒業おめでとう。愛する娘へ。】

目標をもって毎日夜遅くまで勉強頑張りましたね。お友達にも恵まれ、後悔のない三年間だったと思います。これからは県外へ一人で行く姿は不安でもあるけど、もっとより多くのことを得られる人生になると思います。
 幸せな日々ばかりではないと思います。悲しみ・憂鬱な日もあります。それを人生のスパイスとして楽しみながら生きてください。あなたの人生は誰のものでもないあなた自身のものです。それでも、前に進めなくなるときは思い出して下さい。いつも支えてくれた担任の先生。毎日、放課後自習を手伝ってくれた化学室の先生。しっかりと、気がきくお友達。手作りお菓子で癒してくれたお友達。たくさんの方が周りにいて、一人ではなかったこと。幸せな三年間でしたね。卒業生の皆様、小津高の生徒はみんな素晴らしい生徒でした。これから、日本で、世界でのご活躍をご期待申し上げます。

母より

【娘へ】

卒業おめでとう。この三年間、素敵な友達と先生に恵まれ、本当に幸せでした。毎日楽しんで学校へ行っている貴女が眩しかったです。学校生活で悩むこともあったけど、どれをとっても無駄なことは一つもありませんでした。学業に関しては十分ではなかったかもしれませんが、それ以上に大切なことを学びました。自分の道は自分で切り拓く。これからは自分で考え、選択し、歩んでいく貴女を全力で応援しています。

母より

【娘へ】

卒業おめでとう。「自宅から学校は近くなきゃ」と小津高校へ入学し、あっという間に卒業です。近所の高校なのに、いつも遅刻ギリギリでバトルする毎日でしたね。学校外の縁で、三週間にわたるカナダ留学を体験し、充実した高校生活だったと思います。文化祭まで部活があり、受験との両立をがんばりました。いろいろな体験を思い出しながら、これからも進んでください。いつまでも応援しています。

あなた推しの母より

【娘へ】

卒業おめでとう。三年前の春、銀河鉄道999の曲にのせて、皆で行進しながら入場してきた入学式を、い最近のことのように思い出します。あっという間でしたね。少人数の小・中学校から大人数の高校への進学、環境になじめる心配しましたが、何のことありませんでした。友達や先生方、良い環境に恵まれ、とても充実した学生生活を送れたと思います。そして勉強に部活、よく頑張りました。大学進学してまた新しい生活が待っています。高校での経験を生かして、未来へ羽ばたいてください。

母より

【娘へ】

嬉し涙の合格発表からはや卒業になりましたね。卒業おめでとう！学校生活では、もう入らないと言っていた部活に入り色々な思い出と経験をし、初めての下宿生活も楽しい仲間に恵まれ、幸せな出会いで充実した高校生活を送れたことに安堵しています。これからも沢山山出会い幸せをおすそわけできる人になれるように、はるか彼方に飛び立て！応援しています！

母より

【息子へ】

卒業おめでとう。入学したての頃はクラスには同じ中学の子がおらず、席の周りも女の子ばかりでクラスで話をする友達ができなくて悩んでいましたね。でもお母さんは知っていました。シャイな貴方だけど、ちょっとのきっかけですぐに友達ができることを。その後席替えをしたら友達もでき、修学旅行の頃には親友と呼べる友達もたくさんできました。辛い部活の練習も「疲れた」と笑いながら帰ってきていたね。その笑顔が嬉しくて、朝練で早くてもお弁当作りも楽しかった、ありがとう。いつも目標ができたなら一生懸命に取り組む息子。いつまでも私は応援団長であり安らぎの場として見守っています。これからも安心して突き進んでください。

母より



【息子へ】
卒業おめでとう！体調を崩し、学校や部活をお休みすることも多く、大変な三年間でしたね。そんな中でもきつい部活を最後まで続けられ、学校生活も楽しく過ごせたのは、仲間のおかげだと思います。楽しい時は一緒に喜び、つらい時も一緒にがんばり、とてもいい時間を一緒に過ごした仲間はこれからもずっとあなたの支えになってくれると思います。大切にしてください。そして、春からは遠い地で一人での生活になりますね。心配事は多いですが、あなたなら大丈夫と信じています。夢に向かって頑張れ！

母より

【息子へ】
入学当初は学校生活に馴染めず苦労していましたね。人前で発表する事が苦手な研究発表で困ってないかいつも心配していました。でも、あなたの努力と優しい仲間の陰で立派に発表をやり遂げた姿を見て理数科に入学して良かったと思いました。新型コロナウイルスに翻弄され思うような高校生活は送れなかったかもしれませんが、良い出逢いのあった学校生活を送れましたね。これからもずっとあなたを応援しています。卒業おめでとう！

母より

【息子へ】
お街で高校生活を送りたくて、決めた進学。それなのに、新型コロナウイルス感染症のため、思い描いていたことや目指したことをやり切って、高校生活を終えるわけではないかもしれません。そして、今、どんな進路が目前にありますか。
4月になると突然成人になり、親の庇護からはどんどん放たれていきます。これからの長い人生、「どこで生きるのか」「はもちろん「どう生きるのか」は自分で選択し、決めていきます。時には思い通りにならないこともあるでしょう。けれど、たとえ身ぐるみ剥がされたとしても、あなたが持っている知識や技術を奪うことは誰にもできません。自分の力を信じて、人生を力強く切り開いていけることを願っています。
卒業おめでとう！ Bon Voyage！

母より

【娘へ】
卒業おめでとう。少し背伸びをして合格を勝ち取った小津高校だったので、勉強についていけず、小津高校を選んだことを後悔したらどうしよう、そんな事を初めはとて心配しました。ですが、勉強も部活も充実した毎日を過ごしている姿を見て、とてもうれしく思いました。特に部活は、中学校までの部活ではなく、新しくチャレンジしたことがとてもよかったのではないですか。大切な仲間にも恵まれてよかったですね。お父さんもあなたの活躍をたくさん観に行くことができ、とてもうれしかったです。
今、受験を控えて毎日ががんばるあなたに何もしてあげられなくて、本当に申し訳なく思っています。あなたの夢が叶うことを心から願っています。

父より

【娘へ】
卒業おめでとう！正門の前で記念撮影をした入学式が昨日のように感じられます。なかなか忙しい三年間でした。部活と勉強の両立、本当に頑張ったね。そんな忙しい中でも、先生や友だちが大好きで、友人を大切にできる優しい人に成長してくれたことが、親としては何よりうれしいです。さて、いよいよ旅立ちの時です。
大人になるのは責任が伴いますが、人生を楽しんでください。子は舟で、親は港です。寄りたくなったら寄港してね。良い航海を！

母より



【娘へ】
高校生活、色々なことがありましたね。その度悩んでいたけれど、周りの人たちに支えられて、やっとここまでこられましたね。ほんとうに卒業おめでとう。
あなたが優しい子に育てられて、お父さんもお母さんも嬉しく思います。これからも感謝の気持ちと謙虚さを忘れないように。そして、自信をもって羽を広げ、安心して羽ばたいてください。

母より

【娘へ】
卒業おめでとう！中学で、小津高校に行きたいと頑張って勉強に励み、合格発表の日には親子そろってドキドキしましたね。小津高校での三年間は、希望していた研究に取り組み友達や先生方と楽しい時間や苦しい時間を過ごし、とても充実した日々だったでしょう。
三年間小津高校で学び、経験したことを活かし、これからもいろいろな事におもいきりチャレンジし自分の将来の夢に向かってつ

母より

〔演劇部〕
 ◆第71回高知県高等学校演劇コンクール
 包国賞
 岡崎 史佳 (2-5 H)
 齊藤 愛佳 (2-5 H)
 曾根 龍翔 (2-6 H)
 高岡 純佳 (1-3 H)

〔数学同好会〕
 ◆実用数学技能検定準2級合格
 高橋 祐作 (1-1 H)

〔女子バスケ部〕
 ◆令和3年度高知県高等学校バスケットボール冬季選手権大会ベスト8
 森 心 (2-1 H)
 中平 有香 (2-3 H)
 島本 芽 (2-4 H)
 常石 藍花 (2-4 H)
 津野 夏希 (2-5 H)
 中岡 莉瑚 (2-5 H)
 藤戸 帆花 (2-5 H)
 山下 紗葵 (2-5 H)
 松田 萌花 (2-6 H)
 津野 小桜 (1-1 H)
 堀内十和子 (1-1 H)
 吉本 奏音 (1-1 H)
 岡村 七弥 (1-3 H)
 近藤那奈実 (1-3 H)
 田原 花 (1-4 H)
 松下 來未 (1-5 H)

〔男子ソフトテニス部〕
 ◆令和3年度高知県高等学校ソフトテニス秋季大会
 ○男子個人戦
 ベスト8
 藤川 幸明 (2-5 H)
 二俣 朔也 (1-3 H)
 ◆令和3年度高知県高等学校ソフトテニス冬季大会
 ○男子団体戦
 第3位
 田邊 希心 (2-2 H)
 伊藤 彬人 (2-5 H)
 藤川 幸明 (2-5 H)
 高崎 陽色 (2-6 H)

平田 拓也 (2-6 H)
 二俣 朔也 (1-3 H)
 大崎 陸矢 (1-4 H)
 高畑 湊 (1-7 H)
 ○男子個人戦
 ベスト8
 大崎 陸矢 (1-4 H)
 高畑 湊 (1-7 H)

◆第17回四国高等学校選抜ソフトテニス大会
 ○男子個人戦
 出場
 大崎 陸矢 (1-4 H)
 高畑 湊 (1-7 H)
 ※新型コロナウイルスの感染拡大を受け大会中止

〔女子ソフトテニス部〕
 ◆令和3年度高知県高等学校ソフトテニス秋季大会
 ○女子個人戦
 第3位
 中田美香子 (2-4 H)
 好永 涼乃 (2-6 H)

〔卓球部〕
 ◆令和3年度高知県高等学校冬季卓球選手権大会(新人戦)
 ○男子団体
 第2位
 榎嶋 直樹 (2-2 H)
 倉内 丈虎 (2-2 H)
 平山 高大 (2-4 H)
 堅田 晶斗 (2-6 H)
 濱田 尚人 (1-4 H)
 武内 颯音 (1-5 H)
 吉岡 優 (1-6 H)

○女子団体
 第4位
 藤本 そら (2-2 H)
 原山 そら (2-4 H)
 常石 実里 (1-2 H)
 ○男子シングルス
 ベスト8
 濱田 尚人 (1-4 H)
 榎嶋 直樹 (2-2 H)

◆令和3年度全国高体連卓球専門部冬季合宿兼海外遠征二次選考会
 参加
 濱田 尚人 (1-4 H)

〔ハンドボール部〕
 ◆令和3年度高知県高等学校高知支部体育大会
 第3位
 有光 統也 (2-2 H)
 中島 玄翔 (2-5 H)
 澤本 昂希 (2-6 H)
 山本 陽仁 (2-6 H)
 松田 眞飛 (1-1 H)
 樽井 祥 (1-2 H)
 今西章生汰 (1-3 H)
 鳥越 心 (1-4 H)
 中村 亮太 (1-6 H)
 瀬上 夏生 (1-7 H)
 林 和治 (1-7 H)

〔陸上競技部〕
 ◆第22回高知市陸上競技カーニバル
 ○一般男子400m
 第2位
 小田桐成樹 (2-1 H)
 第3位
 松井 翔琉 (2-5 H)
 ○一般女子1500m
 第2位
 下總 彩夏 (1-1 H)
 第3位
 岩下 陽海 (1-7 H)

○一般男子走高跳
 優勝
 福井勝二郎 (2-4 H)
 ○一般男子800m
 第3位
 橋詰 暁伸 (1-2 H)
 ○女子4×400mR
 第3位
 尾崎 蓮花 (2-2 H)
 武田のどか (2-2 H)

下總 彩夏 (1-1 H)
 岩下 陽海 (1-7 H)
 ○男子4×400mR
 優勝
 小田桐成樹 (2-1 H)
 弘瀬 蒼真 (2-4 H)
 松井 翔琉 (2-5 H)
 橋詰 暁伸 (1-2 H)

◆第33回全国高校女子駅伝高知県予選会
 第2位
 武田のどか (2-2 H)
 中村 郁美 (2-2 H)
 円山 美杜 (2-3 H)
 下總 彩夏 (1-1 H)
 岩下 陽海 (1-7 H)

◆第72回全国高校駅伝高知県予選会
 第4位
 松田 悠吾 (2-1 H)
 島村啓太郎 (2-4 H)
 國澤 朋太 (2-5 H)
 吉市 圭吾 (2-6 H)
 西岡 宏祐 (2-7 H)
 橋詰 暁伸 (1-2 H)
 森 奏太 (1-4 H)

◆第2回高知ロード競走
 第3位
 下總 彩夏 (1-1 H)
 第5位
 岩下 陽海 (1-7 H)
 第8位
 円山 美杜 (2-3 H)
 ◆第54回有明クロスカントリー大会
 ○高校女子3000m
 第4位
 下總 彩夏 (1-1 H)
 第5位
 岩下 陽海 (1-7 H)
 第6位
 円山 美杜 (2-3 H)
 第8位
 高橋愛理沙 (3-3 H)
 ○高校男子3000m
 第3位
 倉松 健 (3-1 H)

○女子個人
 第4位
 野島 千愛 (2-2 H)
 ○女子団体
 第3位
 宮崎 優衣 (2-1 H)
 田岡 夕良 (2-2 H)
 野島 千愛 (2-2 H)
 高橋 凜 (2-6 H)
 森岡 心 (2-6 H)

◆令和3年度高知県高等学校弓道冬季選手権大会
 ○女子個人
 第4位
 野島 千愛 (2-2 H)

○男子団体
 出場
 國廣 柁輔 (2-1 H)
 松本 楓太 (2-3 H)
 西岡斗志也 (2-4 H)
 猪野 泰成 (2-6 H)
 佐竹こてつ (2-6 H)

◆第19回四国高等学校弓道新人大会
 ○男子団体
 出場
 國廣 柁輔 (2-1 H)
 松本 楓太 (2-3 H)
 猪野 泰成 (2-6 H)
 佐竹こてつ (2-6 H)

○女子団体
 出場
 宮崎 優衣 (2-1 H)
 森田 千遥 (2-1 H)
 野島 千愛 (2-2 H)
 森岡 心 (2-6 H)

〔英語ディベート〕
 ◆第10回よさこいカップ(高知県英語ディベート大会)
 優勝
 齊家あゆみ (2-1 H)
 谷岡 奈緒 (2-1 H)
 宮本 智貴 (2-4 H)
 大西 昂樹 (2-7 H)
 吉本 颯 (2-7 H)
 ベストディベーター賞
 吉本 颯 (2-7 H)

SSH

(スーパーサイエンス
ハイスクール)

11月以降の活動報告

SSH担当より

第IV期SSH三年目の活動

第IV期SSH指定五年目にあたる令和三年度も、もうすぐ終わろうとしています。

高知県内唯一の理数科設置校として、高知県が進める高知県版Society5.0を担う次世代の人材育成を目指して探究活動に取り組んできました。また、第IV期からは、普通科の生徒も課題研究に取り組み、現代社会で求められる「課題を発見する力」や「課題を解決する力」、「他者と協働する力」、「自分の考えを表現する力」などを身に付け、これからの高知県の課題解決に貢献できる人材を輩出したいと取り組んできました。

SSH課題研究活動の様子

◆ 普通科一年生 総合的な探究の時間

○「地域フィールドワーク」
十一月十九日(金)に、「地域フィールドワーク」を実施しました。普通科一年生が七つの分野(ものづくり系、地球科学・環境・エネルギー系、農林・水産系、流通・経済・マーケティング系、医療・衛生・福祉系、

まちづくり・観光系、ものし(らべ系)に分かれて、各施設や企業でお話を聞き、見学等をしたことで、企業の特徴や強み、高知県の地域課題解決に向けた取り組みなどについて学びました。



タナカショクでの工場見学



高知大学での実験実習

帰校後はグループごとに意見交換やまとめなど振り返りを行い、情報共有を図りました。二月十八日(金)に、クラス発表会として、ポスター発表を行いました。

◆ 理数科一年生 探究基礎

○「ミニ課題研究Ⅱ」

二期は、物理分野で「台車に働く摩擦力と空気抵抗の関係」について、生物分野で「DNAの抽出条件」について、地学分野①で「地震波」について、地学分野②で「高高度発光現象(スプライト)」について、数学分野で「格子多角形」についてミニ課題研究に取り組み、その成果をポスターにまとめて発表を行いました。これらの取組を通して、幅広い分野の実験技能の習得や具体的な研究の進め方を学ぶことができました。



ミニ課題研究Ⅱ発表会

◆ 普通科二年生 総合的な探究の時間

○「課題研究の進捗状況」

夏季休業中から始めたアンケート調査、インタビュー訪問、現地調査、実験等によって得たデータについて分析し、研究をさらに進めました。それらの研究結果をもとに、スライドを作成し、一月二十日(木)・二十七日(木)・二月三日(休)

に、中間クラス発表会、二月十七日(木)には各クラスの代表生徒がリモートによる中間学年発表会を行いました。この発表会を通して得たことを参考に、本格的に論文作成を行う予定です。



中間クラス発表会①



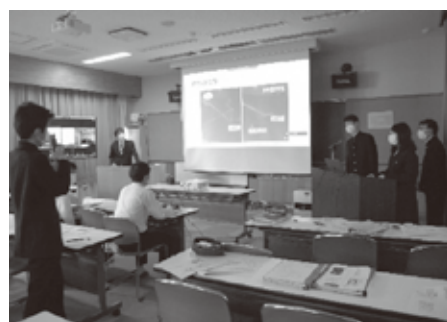
中間クラス発表会②

◆ 理数科二年生 課題研究

○「課題研究中間発表会」

六月のテーマ発表会以降、本格的な課題研究活動に取り組んできました。現在、五領域(物理・化学・生物三・地学一・情報一)計九グループ

で活動しています。十一月二十五日(木)には課題研究中間発表会で、実験活動で得られた成果や研究の進捗状況を発表しました。今年度は、オンラインで高知大学農林海洋科学部の金野大助先生に助言者として参加していただき、貴重な意見をいただくことができました。この発表会での評価・助言等を参考に、年度末に向けてさらに研究を進めていく予定です。



中間発表質疑応答の様子

「OZUサイエンス」

◆ 理数科一年生 OZUサイエンス生物

○「光合成色素の抽出(薄層クロマトグラフィー)」

十一月二十六日(金)、理数科一年生が、光合成色素の抽出実験を行いました。試料として身近にある「シロツメクサ・パセリ・青ノリ・乾燥海苔・乾燥ワカメ・粉末青汁・紅茶」から一人一つ選び、メタノールとジエチルエーテルを使って色素を抽出しました。さら

にクロマトグラフィーシートと有機溶剤を用いて複数の色素に分離し、各色素のRf値から色素の同定を行いました。教科書では、クロロフィルやカロテンなど数種類しか学びませんが、実際にはもっと多くの種類が含まれること、光合成色素には共通のもの、生物により異なるものがあることを確認しました。また、黄色く色付いたイチヨウの葉で同じ実験をおこなうとどうなるかの考察を行いました。



「光合成色素の抽出」実験の様子

ことに喜ぶ生徒達の姿が見られました。石を割っていく作業や、化石を輪郭ギリギリのラインで取り出す作業は根気が必要ですが、生徒たちは集中して取り組んでいました。化石をある程度取り出したら、植物の種類を特定し、当時の気候を推定しました。普段「地学科目」にふれる機会がない生徒たちでしたが、熱心に最後まで取り組む姿が見られました。



取り出した植物の化石

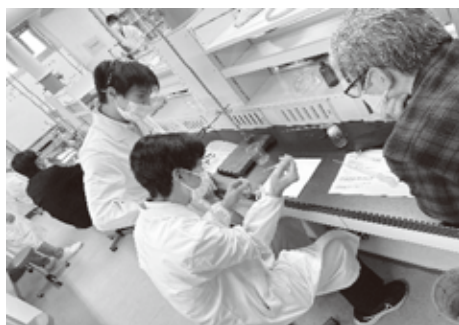
る影響など授業とは異なった切り口で講義をしていただきました。紹介された寄生虫や近所で採取された原生動物などのプレパラートを観察したほか、様々な生物の生存競争に勝ち残るための巧みな振る舞いについて説明を受けました。そのほかにも英語や数学の学習の重要性や勉強の仕方などについてのお話を聴く事ができました。普段は、気にしていない池の中や昆虫や魚の中に潜む小さな寄生虫に関心を向ける貴重な機会となりました。

●「短期集中体験ゼミ」

◆物質化学体験ゼミ

十二月十一日(土)高知大学理工学部で、物質化学体験ゼミを行いました。午前の部では、化学生命理工学科の今村和也先生より「光触媒の超親水化」について講義を受けた後、「触媒による色素の合成」実験を行いました。TAの大学生に実験の操作方法を教わりながら、高校の実験では扱わない薬品や装置を用いて実験を進めていきました。実験が終わると、発光という現象に着目して今村先生が生徒たちに質問を投げかけ、一つの現象を深く掘り下げて考えることの意義について学びました。

反応式と分子量を用いて収率を求めました。製薬会社や大学などで行っている専門の実験で難しい内容でしたが、「大学で行う研究に触れることができ進学意欲が高まった」「協力して難しい実験を成し遂げたことで達成感が得られた」などの感想が見られました。



目的物を単離する様子

◆数学体験ゼミ

十二月二十二日(水)本校にて高知大学教育学部の先生方をお招きして「数学体験ゼミ」を実施しました。内容は代数学・幾何学・解析学の各専門分野から「ある数列のはなし」「グラフのゲーム」「三角関数の重ね合わせ」を題目とした講義を、また数学的活動を伴った「ご飯にカレーを足すのか掛けるのか」演算とは何か、「仮説検定の考え方」「ちよっと変わった作図に挑戦!」という内容で、六名の各先生方お一人ずつから講義が聴ける大変贅沢なゼミでした。



講義を受ける様子

具体的には、二年生で学習する三角関数や数列の発展的な内容であるフーリエ級数の話や、数の基本演算の構造をもつ「群」の考え方、グラフ理論に関連した簡単な対戦ゲーム、コンパスだけを使って作図で無理数ルート3を線分の長さで表現するなど、普段の数学の授業とは異なった視点や数学的な考え方などで問題を捉えたり、体験的な活動を通して楽しんだりすることができました。振り返ると数学三昧の一日を過ごしましたが、高校生にとって数学の世界の広がりを感じたゼミになりました。参加生徒からは「数学がより面白いと思うようになった」、「普段習っている数学がいろいろなところに応用されていることを知ることができた」などの感想が寄せられ、好評でした。

◆理数科二年生

○「化石の標本づくり」

十二月九日(木)、「植物化石の模擬採集」に取り組みました。扱ったのは、栃木県北部塩原の火山活動によって形成された湖に堆積した砂や泥に含まれる化石で、数十万年前のものと言われています。

比較的柔らかい泥石を割っていくと、高確率で植物化石が姿を現します。模擬とはいえ、自分の手で化石を取り出した

●「サイエンスセミナー」

◆理数科二年生

○「寄生虫学入門」

十二月九日(木)に生物選択生徒を対象としたサイエンスセミナーを実施しました。講師は、本校の出身で寄生虫学を専門とされている熊沢秀雄先生にお願いしました。生物の教科書では、系統分類の単元で簡単に触れるのみの寄生虫の生態ですが、そこに医学的な視点を加え、宿主の健康に対する

◆工業技術体験ゼミ

十二月二十二日(木)に高知県工業技術センターで「工業技術体験ゼミ」を実施しました。十四名の参加者が三コースに分かれて研修を受けました。

まずは、高知県工業技術センターの概要について説明していただき、高知県の状況や企業の取り組みについてのお話を聞くことができました。その後、本校卒業生の瀧石研究員から、高校や大学での取り組み方や研究の楽しさについて話を聞きました。そしてセンター所内を周り、高度な検査機器の見学をさせていただきました。

体験学習の「清涼飲料水の分析と試作」のコースでは、甘味、塩味、酸味、苦味、うま味、などの呈味成分に関する試験や分析を行いました。つづいて飲料水のpHの測定、中和滴定など、高校の授業で学習した内容を応用する場面がみられました。

「組み込みマイコンでモノを動かしてみよう」のコースでは、パソコンで書かれたプログラムをマイコンに送り、モーターを制御しライントレースカーを動かす実習を行いました。マイコンやプログラミングについて基礎を学びました。

「重合反応を使ってレジックラフトを作ろう」のコースでは、プラスチックの製造や接着剤に使われている重要な化学反応の一つ「重合反応」を利用して、レジックラフトを作成しました。

この体験ゼミは県内の企業や工業技術のすばらしさを学べる機会となりました。



「清涼飲料水の分析と試作」コースの体験の様子

ぶ絶好の機会となりました。

◆動物解剖体験ゼミ

一月十日(月)、横倉山自然の森博物館の谷地森先生の協力のもと動物解剖体験ゼミを実施しました。

四国自然史研究センターでは、関係の諸機関と連携し様々な野生生物の研究を行っています。その一つとして、交通事故などで死亡した個体を冷凍保存し、計測データを取り、研究分析用のサンプルを採取しています。

今回はタヌキ・ノウサギ・ムササビ・シベリアイタチを提供していただき、脳や筋肉の組織などをサンプル用に採取しながら、内臓諸器官の配置・形態・内部構造、筋肉の付き方や関節のつくりを観察し、死因の推定などを行いました。



解剖実験の様子

●サイエンスフィールドワーク

◆理科一年生 高知海洋コアセンター&芸西メランジュ

十一月十九日(金)、理科一年生は南国市にある高知大学海洋コア総合研究所センターを訪問しました。この研究センターは地球深部探査船「ちきゅう」が採取した海洋コアの分析から地球規模の環境変動を研究する施設で、世界の三大コア試料保管施設の機能も有しています。

午前中はまず研究センターのセミナー室で池原実教授から講義を受けました。その主な内容は「気候変動に関する政府間パネル(以下IPCC)第六次評価報告書を読み解く」と題し、IPCCの報告書が掲載された新聞記事に触れながら、過去約五十年間にわたる高知や世界の平均気温や降水量、海面水位の変化を豊富なグラフで提示し、気候変動や海と気候の関係を学びました。

した。また、探査船「ちきゅう」の四国沖での掘削の様子を動画で紹介もして頂きました。

次に、様々な海で採取され冷凍保存されている海洋コアや、実際に掘削作業に使用されたドリルなどの装置を見物しました。午後からは、芸西メランジュと呼ばれる中生代白亜紀前後に堆積した地層の観察を行いました。生徒たちは、硬さや色などから岩石の種類を見分ける方法や、地層ができる過程を学びました。おわりには大学生と交流する場があり、今後の進路選択を考えるきっかけになる話などが聞きました。

今回のフィールドワークについて生徒からは、「海洋コアを用いて過去の地球環境の変動を解明したり、未来の温暖化の予測をしたりすることのことが流れてきた地層は昔のことが教えてくれるので地学に興味を湧いた」「課題研究の参考になった」などの感想が寄せられ、全体を通じて大変有意義なフィールドワークとなりました。



芸西メランジュについて説明を受ける様子

●国際性の育成

◆理科一年生「科学英語入門」

十二月十日(金)に国際性の育成にむけた取り組みとして、科学英語入門を一年ぶりに実施しました。六限目は高知大学櫻井克年学長をお招きして、「研究と英語ーアジア山地区の風土と生活に学ぼう」と題して講演をしていただきました。海外での研究経験から、現地の人に寄り添うためには英語または現地の言葉で語ることが重要であることを話され、真の国際人になるためにどうするかという問いを生徒たちに投げかけていました。

七限目は、高知大学の外国人留学生と、各国の文化や大学で研究している内容について英語で会話をしました。伝えたいことを英語で表現できないもどかしさを経験し、英語の学習意欲が高まったという感想が多く見られました。



外国人留学生との交流

◆理科科「二年生」科学英語Ⅰ
 二年生の科学英語Ⅰでは、今年度「糸電話」、「酵素」につづき、「pH」を研究テーマに授業に取り組みました。授業では、テーマについて英語で基礎知識の確認を行い、予備実験、実験計画、実験、発表資料作り、英語での発表を行いました。

「pH」については、酸や塩基の復習をし、pH試験紙を用いてpHを読み取る予備実験を行い、計画作り、実験へと進めました。果物、炭酸飲料水、アントシアニン系の色素をもつ花や紫キャベツなどの野菜のpHについて班で協力し、調べました。

発表では、ALTのエマ先生や英語の山崎先生に事前にチェックしてもらった原稿をもとに、生徒達は緊張しながらも、発表することができました。



オンライン発表の様子

◆理科科「三年生」科学英語Ⅱ
 十一月十七日(水)に、高知大学の西浩平教授、外国人留学生八名、県内ALT二名の協力のもと、英語でのポスター発表会を行いました。

独特の緊張感をもって始まったオンラインでの英語発表会の中で、生徒たちは徐々に自信をもって発表している姿が伺えました。留学生やALTからの質問に悪戦苦闘する場面もありましたが、身振り手振りを交えて懸命に応答し、最後まで発表をやり遂げることができました。ポスターの内容や、発表の仕方についての改善点やアドバイスの他、「母国語でない言葉を使っていること。これからは頑張ってください。」と激励の言葉を頂きました。



三年間皆勤

3-1 H

上崎千寛
 小松快士
 小松史歩
 小田村雪
 寺岡蘭香
 西崎芹

3-2 H

河川園歌
 中村眞緒
 西東日菜
 溝村侑乃
 矢野真悠
 月菜

3-3 H

泉谷遥佳
 門田彩加
 楠瀬育矢
 小松航大
 澤村理貴
 彦村なみ
 彦田雄太郎
 谷野蒼翔
 藤原星央
 三山真結羽
 田結菜

3-4 H

有澤想
 田中美帆
 萩野日菜子
 萩野真夕

3-5 H

梅原瑚白
 岡本結子
 川竹充希
 小松内美樹
 武近森陽菜
 野老山乃
 大和彩真奈

3-6 H

北津有彩
 中野慧吾
 濱山三愛
 吉濱田永葵
 礼志朗

三年間精勤

3-1 H

倉松健
 田中日和
 中澤垂明
 野口侑姫
 井陽菜

3-2 H

岡本日向
 小野宏太
 高田彩祐
 高中橋徳
 西村美一

3-3 H

大坪蒼礼
 佐々木和
 高瀬和
 高橋朱
 寺村元紅
 寺元内貴
 面木千
 前田恭孝

3-4 H

狩野早咲
 高橋大地
 平井琉斗
 福留颯太

3-5 H

岡田楓華
 角田夕陽
 山田納充

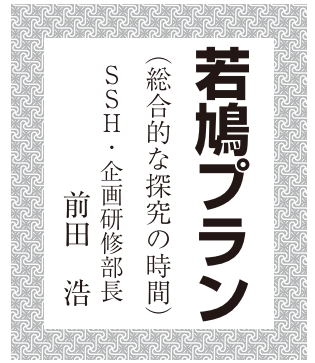
3-6 H

青山主将
 面原詩乃
 島崎涼
 山中萌果

3-7 H

中西尾俊介
 西内研人

皆勤賞は3年間、無遅刻・無欠席・無欠課の生徒を、精勤賞は3年間無欠席で、遅刻・早退・欠課数が合計3回までの生徒を対象としています。おめでとうございます。
 (令和4年2月25日現在)



若鳩プラン

(総合的な探究の時間)

S S H ・企画研修部長

前田 浩

S S H ・企画研修部は、高知小津高校の「総合的な探究の時間」の運営を行っています。「総合的な探究の時間」は、各学校の創意工夫によって行うものとされており、高知小津高校では「若鳩プラン」を実施しています。

一年次の活動を「課題の発見」、二年次の活動を「課題の探究」、三年次の活動を「探究のまとめ」と位置付け、一年次では地域の課題を横断的・総合的に学習し、二年次・三年次では、地域課題の解決を目指して、仲間と協働しながら考察を深めて発表する課題研究活動を行っています。三年間の活動を通して、生徒自身の課題発見・解決能力、思考力、自己表現力を高め、地域の活性化に貢献し活躍できるリーダーとなる力を身に付けることを目標としています。実施計画の策定にあたっては、クラス全体での取り組みやグループ研

究、個人研究など、多様な学習形態を取り入れることに留意しました。

《一年生》

全生徒を対象に、地域の特色や特性を身近な事柄から学び、探究的な活動へとつなぐ「探究基礎」を実施しています。探究的な活動を行うにあたって、「高知県の地域課題」をテーマにした講演やフィールドワークなどを通して、地域の特色や現状及び課題など身近な事柄を学び、より具体的なテーマ設定を行うための必要な知識や考え方を身に付ける取組を行っています。なお、活動の詳細につきましては、学期ごとに発行されている若鳩のS S Hの活動の報告の紙面に掲載しています。

《二年生》

一学期には、研究テーマや仮説の立て方に関する講演を受けたのち、自分が興味をもっていることと地域課題から課題研究の研究テーマを設定し、仮説及び研究方法を決定しました。二学期には、各グループにおける「テーマ」、「仮説」、「研究内容」、「今後の予定」、

「現在困っていること」などを踏まえて、研究の進捗状況を報告し、情報共有を行いました。さらに、校内でのアンケート調査や文献調査などによって得たデータを分析・整理し、スライドを作成しました。三学期には、作成したスライドを使って中間クラス報告会及び学年報告会を行い、他者の取り組みの様子を見て自分の研究を振り返ると共に、互いに意見・助言を交換して、これからの論文作成に生かしていく予定です。

なお、活動の詳細につきましては、学期ごとに発行されている若鳩のS S Hの活動の報告の紙面に掲載しています。

《三年生》

三年生は、一学期には、二年生より引き続き課題研究活動に取り組みました。各自で研究したことについて、論文にまとめた後に、論文やスライド資料を用いて、クラス報告会を行い、研究の成果を共有しました。これまでの学びの集大成として、クラス報告会により選出されたクラスの代表者六名による学年報告会を行いました。

己実現」をテーマに、自らの進路を「拓く」ため、実力養成へ向けた取組を行ってきました。入試問題に触れる活動を中心に、学習スケジュールが組まれています。

《おわりに》

高知小津高校では、「若鳩プラン」やロングホームの時間を活用し、前述の取組以外にも、「進路講演」「人

権教育講演」「保健講話」等、講演・説明会を実施しています。

これら一つひとつの活動を刺激として、生徒が知的好奇心を高め、日々の学習意欲向上へとつなげてくれることを心から願っています。勿論、これらの取組は講師として参加していただいた地域の方々や保護者の皆様のご理解、ご協力なくして成立するものではありません。以上の趣旨をご理解いただき、生徒たちの進路実現へ向けて、今後ともご支援いただきたくお願い申し上げます。

講座	講座名
授業研究講座	国語研究
	数学研究Ⅰ
	数学研究Ⅱ
	英語研究Ⅰ a
	英語研究Ⅰ b
	英語研究Ⅱ
	理系物理研究
	理系化学研究
小論文講座	社会系 (小論文中心)
	社会系 (口頭試問、集団討論中心)
	理・工・農・水産系
	情報系
	教育系
	福祉系
	家政・生活系 看護・医療系

令和3年度 学校評価アンケートについて

高知小津高等学校長

本校では、開かれた学校づくりの一環として「学校評価アンケート」を実施しています。本年度も昨年度に引き続き、生徒、保護者、教職員、小津会等を対象に12月に実施しました。多くの方々にアンケートに回答していただき感謝申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の対応のため、行事予定の変更および学校行事の縮小が多くありましたが、今年度も例年同様に学校の取組について概ね肯定的な評価を得られていると考えます。評価のあまり高くなかった項目やご指摘いただいた事項につきましては、改善の手立てを講じながら、本校のさらなる充実・発展に向けて取り組んでまいります。

また、本調査にご協力いただきました皆様に心から厚くお礼申し上げますとともに、今後とも本校の発展のためご支援くださいますようお願いいたします。

学校評価アンケート（生徒・保護者・教職員）集計と分析

回答は、各設問に次の1から4のいずれかを選ぶ方式です。「1」「2」を肯定的な評価と考え、主として肯定的な評価について分析しました。今年度は、新型コロナウイルス感染症の対応として、書面によるPTA総会、ミニ体育祭の中止、開催した文化祭も外部の方の参観をお断りする状況下で、保護者の方に学校に来ていただく機会が少なく、昨年度同様、保護者の回答で無回答が例年と比べて大幅に多くなっています。

1：そう思う 2：ややそう思う 3：あまりそう思わない 4：そう思わない

調査対象	生徒	816名のうち	811名回収	(回収率 99.4%)
	保護者	816名のうち	706名回収	(回収率 86.5%)
	教職員	78名のうち	76名回収	(回収率 97.4%)

■ 1 ■ 2 ■ 3 ■ 4 ■ 無回答

(1) 本校に入学して良かったと思っていますか。
 (保) お子様を入学させて良かったと思いますか。
 (教) 生徒は本校に入学して良かったと感じていると思いますか。

生徒84.0%(昨年84%)、保護者93.9%(昨年94%)、教職員93.5%(昨年85%)が良かったと感じている。生徒・保護者の肯定的評価はほぼ昨年と同程度、教員の肯定的評価は上昇している。今後も、100%の満足度に向けて取り組んでいく。

対象	1	2	3	4	無回答
生徒	41.3%	42.7%	12.8%	0.0%	3.2%
保護者	66.1%	27.8%	4.7%	0.6%	0.8%
教職員	21.1%	72.4%	3.9%	0.0%	2.6%

(2) あなたは、目標を持って学校生活を送っていますか。

生徒78.3%(昨年80%)、保護者81.1%(昨年83%)、教職員80.3%(昨年72%)である。生徒・保護者の肯定的評価は、ともに昨年に比べてやや下がっている。生徒は、1年生75.8%、2年生74.5%、3年生84.5%である。例年の傾向からも、学年が進むにつれて、より目標を明確にもって取り組んでいることがわかる。充実した学校生活を送るためにも、より早い段階で目標設定を行うことが必要である。

対象	1	2	3	4	無回答
生徒	36.6%	40.7%	18.1%	0.0%	3.6%
保護者	41.6%	39.5%	15.7%	0.4%	2.7%
教職員	9.2%	70.1%	17.1%	0.0%	2.6%

(3) あなたは、小津高校の授業に満足していますか。

生徒81.8%(昨年79%)、保護者80.6%(昨年81%)、教職員78.9%(昨年82%)が肯定的に回答している。本年度は昨年度のような休校期間等はなく、授業進度等は例年通りであり、生徒は数%上がっているものの、保護者はほぼ昨年同程度である。生徒の学習状況を把握しながら工夫に努め、ICTなども活用して、生徒の主体的な学びを育てる授業を目指し取り組んでいくことが必要である。

対象	1	2	3	4	無回答
生徒	27.3%	54.5%	14.3%	0.0%	3.9%
保護者	30.3%	50.3%	15.6%	1.4%	2.4%
教職員	9.2%	69.7%	15.3%	0.0%	5.3%

(4) 予習や復習などの家庭学習の取組が達成できていますか。
 1年：平日2時間、休日3時間／2年：平日2-3時間、休日4時間
 3年：平日4時間以上、休日6時間以上

生徒30.3%(昨年33%)、保護者38.3%(昨年38%)、教職員23.6%(昨年28%)となっている。1年生は19.8%、2年生は21.8%、3年生は49.4%が肯定的な回答をしている。学年が進むにつれて上昇しているが、早い段階からの習慣付けが大切である。また、基本的な生活習慣を身に付け、学校の活動(授業、部活動、学校行事等)に生徒が主体的に取り組んでいくことが重要である。

対象	1	2	3	4	無回答
生徒	9.6%	20.7%	40.6%	28.7%	0.4%
保護者	11.5%	26.3%	32.9%	28.5%	0.4%
教職員	3.9%	19.7%	55.3%	21.1%	0.0%

(5) 授業改善に向けて、教材や教え方にさまざまな工夫をしている先生が多いと思いますか。
 (教) あなたは授業改善に向けて、教材や教え方にさまざまな工夫をしていますか。

生徒83.4%(昨年79%)、保護者52.0%(昨年53%)、教職員85.6%(昨年88%)が肯定的に評価している。保護者無回答26.1%である。生徒はやや上がっているものの、保護者・教員はやや下がっている。本年度、全てのホーム教室にプロジェクターとスクリーンが設置され、生徒用タブレットも全生徒分導入された。来年度からも、これらのICT機器を活用しての授業改善をさらに進めていく必要がある。

対象	1	2	3	4	無回答
生徒	35.3%	48.1%	14.3%	0.2%	2.1%
保護者	10.9%	40.1%	19.6%	26.1%	2.1%
教職員	22.4%	69.2%	10.5%	1.3%	2.6%

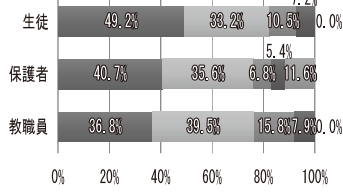
(6) 教育課程(授業)は、あなたの進路に対応する選択ができるように組まれていますか。

生徒83.4%(昨年85%)、保護者71.7%(昨年68%)、教職員80.2%(昨年73%)が肯定的に評価している。保護者無回答14.3%である。1年生は92.7%、2年生は79.4%であり、3年生は77.9%が肯定的な回答をしている。普通科では、文型・理型のコース選択を考えていく1年次に、進路学習や個人面談を重ねていくことが必要である。近年、大学入試をはじめとして変化が激しい進路情報を、丁寧に生徒・保護者に提供していくことで、適切な科目選択となるように努め、より高みを目指した進路決定へ取り組んでいく。

対象	1	2	3	4	無回答
生徒	39.6%	48.8%	12.9%	0.0%	3.7%
保護者	22.7%	49.0%	12.5%	14.3%	1.6%
教職員	28.9%	50.3%	11.8%	0.0%	7.9%

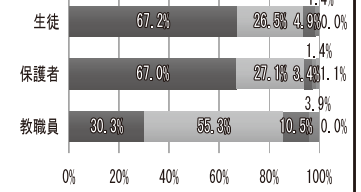
(7) 本校が定期的（月一回）に実施している頭髪・服装の指導は適切であると思いますか。

生徒82.4%(昨年77%)、保護者76.3%(昨年80%)、教職員76.3%(昨年76%)が肯定的に評価している。生徒の肯定的な評価は上がっているが、保護者は減少し、無回答も11.6%と多い。参観授業や学校行事が少なく、生徒の様子を見てもらえていないことが原因と考えられる。今後も学校として定期的な指導を継続していく。



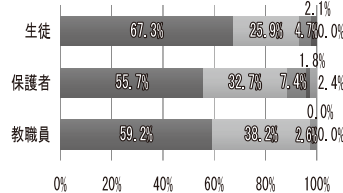
(8) 本校は遅刻指導、挨拶指導など基本的な生活習慣の確立に力を入れています。校則を守り、規則正しい高校生活を送っていますか。

生徒93.7%(昨年95%)、保護者94.1%(昨年95%)、教職員85.6%(昨年85%)が肯定的な評価をしている。生徒・保護者ともに高い評価を得ている。生徒が自覚ある高校生活を送っているということでもあり、今後も、指導の充実と徹底を行っていく。



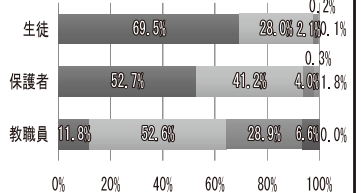
(9) ホームマッチや学校行事（球技大会、文化祭、体育祭など）に意欲をもって取り組んでいますか。

生徒93.2%(昨年94%)、保護者88.4%(昨年85%)、教職員97.4%(昨年95%)が肯定的な評価をしている。真摯に学校行事へ取り組む生徒の姿勢や、積極的に学校行事へ参加する生徒の意欲の高さが表れている。保護者には、ミニ体育祭の中止、校内だけでの文化祭の実施のため、生徒の頑張る姿を見てもらえなかったのが残念であった。今後も、学校行事の内容の充実を図り、工夫改善に努めたい。



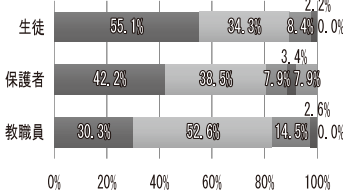
(10) 本校は交通マナーの向上のために、交通安全指導に力を入れています。交通マナーを十分守っていますか。

生徒97.5%(昨年96%)、保護者93.9%(昨年95%)、教職員64.4%(昨年55%)が肯定的な評価をしている。大部分の生徒は交通ルールを遵守しているが、通学時の自転車関連の事故が多いことが、教職員の評価が下がる原因となっていると思われる。今後も、警察署や交通安全協会、地域の方々とも連携し、交通安全教室や生徒会役員・交通安全委員を中心とした交通安全に関する活動を継続し、さらなる充実を図っていく。



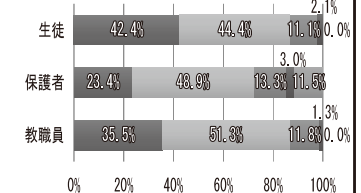
(11) 本校は、適切に部活動の指導を行っていますか。

生徒89.4%(昨年90%)、保護者80.7%(昨年81%)、教職員82.9%(昨年74%)が肯定的な評価をしている。昨年度からの新型コロナウイルス感染症対応のため、部活動の練習時間が制限されたり、一部の大会が中止となったりするなど、生徒・教員ともにやる気を維持するのが難しかった。その中でも、生徒の肯定的な評価は、例年とほぼ同様であり、おおむね適切な指導が行われていることが窺われる。今後も感染症やケガ等への対策も徹底し、文武両道の質の高い教育を目指し、指導の充実を図っていく。



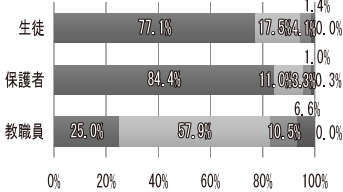
(12) 本校は、生徒一人ひとりに適したきめ細かい進路指導を行っていますか。

生徒86.8%(昨年84%)、保護者72.3%(昨年69%)、教職員86.8%(昨年85%)が肯定的な評価をしている。保護者無回答11.5%である。生徒・教職員の評価に比べ、保護者の肯定的な評価が少し低かった。今後も、最新の進路情報を収集し、さらにきめ細かい情報の伝達を行うとともに、指導方法についても工夫・改善をしていく。



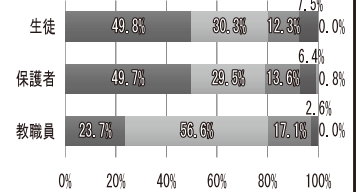
(13) 本校の進学補習(土曜補習)を、毎回受講していますか。

生徒94.6%(昨年94%)、保護者95.4%(昨年94%)、教職員82.9%(昨年85%)が肯定的な評価をしている。生徒の学習への意欲は高く、保護者の関心も高いと思われる。今後も、生徒の進路実現に向けて、授業・補習の充実と課題に対する取組の充実を図っていく。



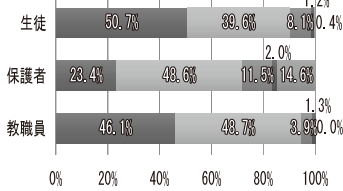
(14) 本校から配付している連絡文書、案内文書、学校通信「若鳩」はご家庭に届いていますか。

生徒80.1%(昨年78%)、保護者79.2%(昨年77%)、教職員80.3%(昨年77%)が肯定的な評価をしている。生徒や保護者の回答から、約2割のご家庭で連絡文書等が十分に届いていない現状が確認できる。保護者あての文書は、本校ホームページに掲載したり、すぐるでも配信したりしている。また、ホームページには学校での活動についても掲載しているので、定期的にご覧いただきたい。文書は、学校と家庭の情報共有を図るうえで大切な手段であるため、重要なものという意識付けを徹底していく。



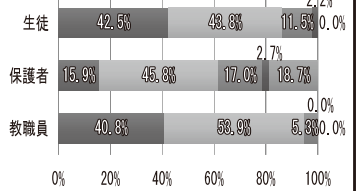
(15) 本校は、進路指導に必要な進路教材・資料の提供は十分であると思いますか。

生徒90.3%(昨年90%)、保護者72.0%(昨年67%)、教職員94.8%(昨年91%)が肯定的な評価をしている。保護者無回答14.6%である。生徒からは一定の評価をいただいているが、保護者の肯定的な評価が少し低く、無回答も多い。昨年度からの大学入学共通テストや各大学の入試について変更が多くあり、不安を感じる保護者が増えていると思われる。生徒・保護者が進路決定に参考になるよう、さらなる情報提供の工夫をしていく。



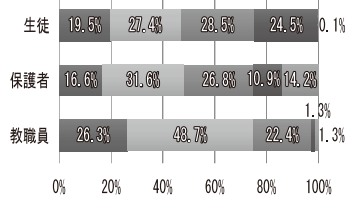
(16) 本校は、生徒の悩みについて、相談できる体制づくりができていますか。

生徒86.3%(昨年82%)、保護者61.7%(昨年61%)、教職員94.7%(昨年89%)が肯定的な評価をしている。保護者無回答18.7%である。今後も、生徒・保護者に向けて、本校における相談・支援体制を周知していくとともに、今まで以上にスクールカウンセラーとの相談しやすい体制づくりと、校内での連携を密にすることが必要である。



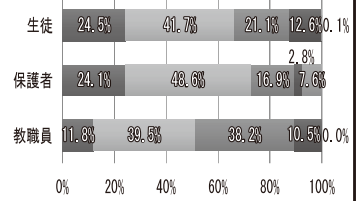
(17) 本校は、スーパーサイエンスハイスクールの指定を受け、各種の取組を行っていますが、積極的に参加していますか。

生徒46.9%(昨年46%)、保護者48.2%(昨年47%)、教職員75.0%(昨年64%)が肯定的な評価をしている。保護者無回答が14.2%である。新型コロナウイルス感染防止の観点から中止となった取組等もあり、外部からは取組の様子が見えづらい面もある。学校側から積極的に情報発信していくとともに、本校のホームページでも、SSH活動の様子を掲載しているので、ぜひご覧いただきたい。



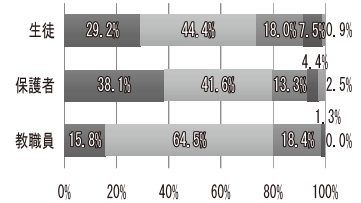
(18) 本校は、50分7限授業を行っていますが、学力面で効果を上げていますか。

生徒66.2%(昨年58%)、保護者72.7%(昨年72%)、教職員51.3%(昨年51%)が肯定的な評価をしている。保護者の評価は昨年と同程度であったが、生徒の評価は昨年よりも若干上昇している。今後も、授業において確実な学力を身に付けさせるとともに、模試の結果や進学実績においても、その効果が発揮できるよう継続して取り組んでいく。



(19) 地域や保護者の皆様にとって来校しやすい学校だと思いますか。

生徒73.6%(昨年74%)、保護者79.7%(昨年81%)、教職員80.3%(昨年78%)が肯定的な評価をしている。生徒・保護者ともに昨年とほぼ変わらなかったが、例年と比べると少し低い。新型コロナウイルス感染防止のため、行事を中止・縮小したことに加え、外部からの校内への立入を制限したためと考える。地域の方々や保護者の期待に応えられるよう、環境美化も含め進学実績を上げるとともに、文武両道の質の高い教育を目指して、学校全体で取り組んでいく。



小津会の皆様のアンケートの結果 19名のうち 14名回収(回収率 73.7%)

小津高校に期待する事項について、11項目の中からの選択をお願いしました。集計結果は下のとおりとなります。「教職員の資質・指導力を向上させる」、「進学・就職希望に応える教育をする」、「学校行事や部活動を充実させる」、「社会のルールや決まりの指導に力を入れる」の上位4位までは同じ項目が入り替わっているものの、項目は同じとなっています。また、今年は「道徳教育や人権教育に力を入れる」「不登校、中途退学対策に力を入れる」が挙げられています。「一人一人の生徒を大切に、個の良さを伸ばすと共に、しっかりと社会性も身に付けさせてほしい。」「『和して学び、自立して歩む』を大切にしてください。」「先生方には大変ご足労をおかけしますが、生徒たちの進路実現に向けてのご指導をお願いします。」といったご意見がありました。今後もチーム小津として、保護者や地域の方々の期待に応えるべく、一層の取組の充実を図り、教員の指導力の向上、総合力の高い学校を目指すとともに、社会に通用する人材の育成に尽力したいと考えています。

これからの小津高校に期待すること (3つ選択で上位5位まで)

- 1位 教職員の資質・指導力を向上させる (昨年2位) 8名(57.1%)
2位 進学・就職希望に応える教育をする (昨年1位) 7名(50.0%)
2位 学校行事や部活動を充実させる (昨年2位) 7名(50.0%)
4位 社会のルールや決まりの指導に力を入れる (昨年4位) 6名(42.9%)
5位 道徳教育や人権教育に力を入れる 3名(21.4%)
5位 不登校、中途退学対策に力を入れる 3名(21.4%)



第67回高知県青少年読書感想文コンクール審査結果 (高知県高等学校学校図書館協議会)

Table with 5 columns of names and their respective counts. Names include: 西門小長有寺高, 松曾北北加福大, 高柿石柳濱山, 内田川崎澤元橋山, 岡根村村納本, 橋谷川村田本, 研心 莉 紅愛視 芽, 拓龍俊謙希紗健, 亜玲結碧尚み, 人渚亮子想珠沙元, 海翔介二実也登, 紗奈理海人那.

入選

最優秀

本年度は一年生の北村芽生さんが最優秀賞を受賞し、二十八名が入選という結果になりました。また、「高知県高等学校校長協会長賞」も受賞しました。

令和3年度 大学・短大および専門学校等・就職現役生 合格者数 令和4年2月16日現在

国公立大学	合格数
滋賀大学	1
大阪教育大学	2
岡山大学	3
愛媛大学	1
鳴門教育大学	1
高知大学	13
宮崎大学	1
公立ほこだて未来大学	1
都留文科大学	1
県立広島大学	1
下関市立大学	1
高知県立大学	4
高知工科大学	13
北九州市立大学	1
国公立大学計	44

私立大学	合格数
茨城キリスト教大学	1
城西大学	1
青山学院大学	1
順天堂大学	1
専修大学	1
帝京大学	1
東京電機大学	1
武蔵大学	1
神奈川大学	1
神奈川工科大学	1
愛知学院大学	1
京都外国語大学	1
京都産業大学	10
京都女子大学	1
京都精華大学	1
京都橘大学	3
京都文教大学	1
佛教大学	2

私立大学	合格数
龍谷大学	8
同志社大学	1
大阪大谷大学	1
大阪産業大学	1
大阪工業大学	2
大阪体育大学	3
関西大学	3
近畿大学	5
摂南大学	3
桃山学院大学	1
森ノ宮医療大学	2
奈良大学	2
関西学院大学	2
神戸学院大学	4
神戸女学院大学	1
神戸女子大学	3
甲南大学	2
兵庫医科大学	1
武庫川女子大学	2
畿央大学	1
岡山理科大学	5
就実大学	7
美作大学	2
川崎医療福祉大学	4
福山大学	2
福山平成大学	1
日本赤十字広島看護大学	1
広島国際大学	2
安田女子大学	1
四国学院大学	1
徳島文理大学	16
高知リハビリテーション専門職大学	4
高知学園大学	10
九州栄養福祉大学	1
私立大学計	136

短期大学	合格数
関西外国語大学短期大学部	1
高知学園短期大学	8
嵯峨美術短期大学	1
滋賀短期大学	1
短期大学計	11

専門学校等	合格数
大阪アミューズメントメディア専門学校	1
大阪外語専門学校	1
高知開成専門学校	1
国際デザイン・ビューティーカレッジ	1
四国医療工学専門学校	1
近森病院附属看護学校	3
土佐リハビリテーションカレッジ	1
広島美容専門学校	1
みかしほ学園日本栄養専門学校	1
龍馬看護ふくし専門学校	3
ル・トーア東亜美容専門学校	1
国立病院機構高知病院附属看護学校	5
高知職業能力開発短期大学校	3
西日本教育医療専門学校	1
専門学校等計	24

就職	合格数
厚生労働省高知労働局	1
法務省刑務官	1
陸上自衛隊一般曹候補生	2
陸上自衛隊自衛官候補生	2
高知県職員(教育事務)	3
警察庁中国四国管区警察局四国警察支局	1
高知県職員(警察事務)	1
高知県警察	1
高知市消防	1
本山町職員	1
就職計	14



卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。卒業生の保護者の方々にもお喜び申し上げます。コロナ下での学校生活は辛く苦しいことも多かったと思いますが、しかし、そんな苦しい時期を乗り越え、卒業することのできた三年生の皆さんは、小津高校で学んだことを生かし、たくましく自分の未来を切り開いていかれるのではないかと思います。今後の健やかな成長とご多幸をお祈りいたします。

今号では保護者の方々や三年生の先生方からお祝いのメッセージを寄せていただきました。心のこもった言葉を本当にありがとうございます。

今号では今年が最終号となります。これまでの編集に際してご協力いただきました皆様、深く感謝申し上げます。今後でもできるだけ多くの方々の声を掲載し、皆様に親しまれる紙面づくりを心掛けていきたいと思います。ご理解とご協力をお願いいたします。



編集後記

行事予定

3月2日(水)・7日(月)・10日(木) 学年末試験

3日(木)・4日(金) 高校入試A日程

18日(金) 終業式

4月7日(木) 始業式・入学式